



### 大学入試センター試験近づく

大学等の推薦・AO入試の大半が終わり、大学入試センター試験まで1ヶ月を切りました。本校50期生も、近づく本番に備え、冬季休業期間中もそれぞれの科目の演習に取り組むこととしています。

これからの大切な一日一日をどう過ごすか。大事なことは、やるべきことをとことんやり、最後の最後まで粘るということです。今までの積み重ねで、これまでにない理解力・集中力をもっているこの時期に、最高の効率で勉強してほしいと思います。

不安を解消するには、今までやったことを確実に固めていくしかありません。そこで、今までの総復習を優先的にやりましょう。思うように得点できない受験生に見受けられるのは、復習を軽視しているということです。

(解答解説を読むだけでは、復習したとは言えません。)過去問や模試で何故できなかったのかをしっかりと考え、確実に克服できているかを確認しましょう。これを徹底することで、センター試験の底上げ間違いなしです。

さらに、もっとも気をつけなければならないことは、体調を整えることです。ベストコンディションで臨むため、今から生活のリズムを崩さないように気をつけましょう。あと24日(12月24日現在)。50期生が頑張る姿を、保護者はもちろん、後輩である1・2年生、そして先生方も一緒に応援しています。頑張ってください。

### 進路目標を明確にしよう — 情報収集し吟味を —

受験を1・2年後にひかえた2年生・1年生の皆さんは自分の進路目標をどれだけ具体的に言えるでしょうか。大学入試に限れば、進路に関する意識の差が合否に大きく影響するため、早期の目標設定が必要です。

では、進路を考えるときにはどのようなことに注意すればよいのでしょうか。進路目標を実現した大学生や社会人の話を総括すると、次の五つがあげられます。

- ① 様々な活動を通して自分の関心事を見つけること。
- ② 学部学科や大学の情報を集めて研究すること。
- ③ 文系・理系という区分だけで判断しないこと。
- ④ 大学生や職業人の体験談を活かすこと。
- ⑤ 職業に関する情報を収集すること。

### 模試を上手に活用しよう — 1・2年生 —

1・2年生のみなさんは、約1ヶ月後の1月24日、25日(2年生)に本年度3回目の対外模試を控えています。模擬試験は、みなさんの進路目標を達成するための大切なツールです。模擬試験を最大限に利用して、夢実現につなげましょう。模擬試験を受けるメリットはたくさんありますが、1・2年生の現段階では、次のような5点があげられます。

- ・ 自分の学力の位置がわかる。
- ・ 勉強の進み具合がわかる。
- ・ 自分の弱点、これから伸ばすべき科目がわかる。
- ・ 問題を解く順番やペースなどがわかる。
- ・ 試験慣れすることで実力が出せるようになる。

2年生は5教科、しかも国語・数学・英語は200点満点になり、3年生と同様の配点と試験時間で実施されます。1年後にセンター試験の受験を控えたこの時期に、自分の学力がどの程度なのかを知る模擬試験です。ちなみに、東京大学や京都大学、医学部を目指す生徒は、国語・数学・英語の合計が8割以上、鹿児島大学は6割以上の得点が必要です。

1年生は3教科の試験で、高校1年生としての実力がどの程度のものか、2年生になる前に自分の学力の位置を知るための試験です。

1・2年生ともに、モチベーションを強く持って受験してほしいと思います。

以下に各学年の模試科目・配点・時間を掲載します。

2年生			1年生		
国語	200点	90分	国語	100点	80分
数学	200点	120分	数学	100点	100分
英語	200点	90分	英語	100点	80分
地歴	100点	60分	2年理系は理科2科目、 公民なし		
公民	100点	60分			
理科	100点	60分	2年文系は理科1科目、 公民あり		
理科	100点	60分			

### 【1 学年部から】

先日の総合的な学習の時間（朝日子）に、「先生のアシあと」として、日頃授業で会うことのない先生方の話を聞く機会がありました。4人の先生方の話を聞いてどのような印象を受けたでしょうか。気になる先生の話、他のクラスの人に聞いてみてはどうでしょうか。

ところで、今回のように、人の話を聞いたり本を読んだりしたとき、あなたはその後どのように過ごしていますか？

〈「先生のアシあと」各クラスの講師〉

- 1組：小牧先生，二之宮先生，瀬戸川先生，アレックス先生
- 2組：西先生，廣瀬先生，中島教頭先生，大迫先生
- 3組：馬場先生，小牧先生，二之宮先生，西先生
- 4組：二石教頭先生，大迫先生，飯伏先生，小牧先生
- 5組：古野先生，馬場先生，川元先生，小倉先生
- 6組：瀬戸川先生，川元先生，アレックス先生，二之宮先生
- 7組：大迫先生，二石教頭先生，廣瀬先生，川元先生
- 8組：小倉先生，古野先生，小牧先生，中島教頭先生

### 体験を積む

これまでの日常の生活では、あまり多くのことを体験していないのではないのでしょうか。これからの人生においてはきっとより多くのことを体験していくことと思います。しかし、実際に「体験」することには限界があります。したがって、より多くの体験をするためには、いろいろな人の話を聞いたり読書すること等が大切になります。本をたくさん読んでいる人や人の話をしっかり聞いている人は、いろいろな体験を自分のものにする機会をたくさん持っていることになります。

### 体験を生かす

「体験」をたくさん積むだけでいいのでしょうか。

これから長い人生においては、色々なことが起きると思います。現在は高校生として、勉強や部活動を頑張っていると思います。この勉強や部活動において満足した成果が得られていますか。もし得られていないのであればあなたはどうしますか。

満足のいく成果を得るためには、それまでしてきたことと同じことをしては似たような結果にしかなりかねません。何かを変えていかなければならないはずです。そのとき、他の人から得た「体験」を生かすことができるかどうか大切になってきます。

今までと同じことをするのは、慣れもあり簡単です。見たり聞いたりして「こんな方法もあるのだ」とか、「こんなことをしてみよう」と思ったときに、とりあえず取り組んでみることは勇気のいることかもしれません。また、今までとは違うことを始め、そして続けていくことは根性も必要になります。この勇気と根性を発揮して行動しなければ今までとは何も変わらないままになってしまうでしょう。

### あきらめることも大切

新しいことを始めることで、それまでの生活をそのまま続けられないことがあります。時間の使い方や人とのつきあい方も変わるでしょう。何かを変えていくということは、その変化を受け入れる度胸も必要になります。

例えば、成績を伸ばしたいと考え、何かを変えようと思えば、そのための時間が必要になります。しかし1日は24時間しかありません。今まで使っていたどこかの時間を削らなければなりません。場合によっては、人とのつきあい方も変えなければならなくなるかもしれません。自分が本当にやりたいこと、やらなければならないことは何かを考えて、行動を起こすためには、何かをあきらめなければなりません。本当にやりたいことであれば、あきらめることもでき、新しい自分を手に入れることができるはずです。

まだ高校生です。多少の失敗はまだまだ許されます。失敗を恐れず挑戦をしていきましょう。

## 【2学年部から】

国内体験学習が無事終わりました。お疲れ様でした。1日目の大学訪問, 2日目の企業訪問～都内自主研修, 3日目の江戸東京博物館～ディズニーリゾート, 4日目のスカイツリー, 上野公園…。今思うとあつという間の4日間でした。皆さんの行動・取り組みは全体的に良かったと思います(所々で注意を受ける者はいました)。特に, 企業訪問は, きちんと挨拶, お礼等の場にふさわしい振る舞いができていたようです。見学等の態度も良かったという引率の先生方の声も聞こえ, うれしい限りです。OBの先輩方も大変熱心に対応して下さいました。先輩方の, 皆さんに対する熱い思いが伝わってきたのではないのでしょうか。皆さんの書いたお礼状は各企業に送付しました。今回は, この企業訪問の感想文を抜粋して掲載します。

### 国会議事堂

一番大事だと思ったことは, 政治は日本国民全員が参加しなければならないということだ, 自分たちが積極的に政治に関心を持つことによって, 議員の方々も意見をまとめやすくなり, 良い国が作れるようになると思う。

### シークス株式会社

最も心に残ったことは, 「bestよりbetter」という言葉と, 「働く」ことの意義についてです。一つの目標が達成されたらそれよりもっと上の目標を持つこと, 働くとは「人を動かすこと」ということを聞いて, とても奥の深い言葉だと思いました。

### 日本生産性本部

先輩の話で, 「私は頭が良いわけではなかった。しかし, 物事を我慢強く続けるという武器を持っていた」という話を聞いて, なるほどと思った。確かに天才肌の頭の良い人もいるかも知れないが, 多くの方は努力によって積み上げたことが自身を周りから突出させ, 後々大きな武器となっていくのだ。

### 日特建設

近くの浜離宮に連れて行ってくださった。現在東京オリンピックに向けていろんなところで工事が進んでいることを肌で感じた。またこの会社は福島第一原発の工事や清水寺の斜面修復なども行っているというのを聞いて, 他にはできない仕事ができるというのは素晴らしいと感じた。

## 今年度の進路関係行事について(予定)

12月 二者面談(実施中)

2月 合同LHR

1月 進路講演会(21日)

3月 先輩と語る会 スタディサポート

### NEC

洞爺湖サミットで展示されたという「触れる地球」が印象に残りました。また, 会話するロボットや, 指紋認証, 話した言葉をリアルタイムで文字にする技術など, 科学技術はここまで進んでいたのかと思いました。はやぶさ2への応援メッセージを書くこともできてうれしかったです。

### 日本通運

印象に残っているのは, 社員の皆さんが仕事にやりがいを持っていらっしゃるということです。お客様からの感謝に対する喜び, 仕事の達成感。私も将来, そういうやりがいを感じることができる仕事に就きたいと思いました。中国の日本大使館移転では, 夜通し作業を行ったということを知り, 大変な仕事だなあと感じました。

### 防衛省

隊員の方々が, つらかった訓練も今では良い思い出であると話されているのを聞いて, 私もつらいことがあってもがんばって乗り越えていこうと思いました。服に付いているバッジの意味なども知ることができて良かったです。

### パスポート

OBの濱田さんは, 三綱領の中の「敬愛」の大切さを教えて下さいました。「何事にも志を持って取り組む」というお話を聞き, 自分も目的, 意志を持って取り組んで, 時間を浪費しないようにしようと思いました。ワイン倉庫は圧巻の眺めでした。

<第3学年部から>

『何かに挑戦して確実に報われるのであれば、誰でも必ず挑戦するだろう。報われないかもしれないところで、同じ情熱、気力、モチベーションをもって継続しているのは非常に大変なことであり、私は、それこそが才能だと思っている。』

将棋棋士十九世名人、羽生善治氏の言葉です。君たちはこれからの人生の中で、努力が報われる場合だけでなく、逆の場合も多く経験します。むしろ後者を経験することの方が多いかも知れませんが、自身に課された労働に対する相応の対価を求め、相応の対価が見込めない労働は敬遠するといった、最近の若者の傾向を危惧する経営者の声を耳にしたことがあります。進学校で学んできた君たちは、本校で3年間頑張ってきたことの集大成の時期を数週間後に迎えます。君たちは、今、この言葉をどう理解しますか？

君たちが挑もうとしているのは、受験生の努力を点数化して合否を決定する大学入試です。君たちのこれまでの努力と、その努力の積み重ねによって身に付いた学力を、1回あるいは2回の試験で評価する厳しい世界です。自分の将来を熟慮したうえで設定した志望校に合格することを夢見て、できれば第1志望の大学に進学したいというのが、全員に共通する思いです。君たちはこれまで必死に頑張ってきたはずですが、覚悟はできていますか？ 試験当日に持てる力をすべて出し切れるような準備をしていますか？

ここでまた人の言葉を借ります。無敗でヘビー級王座を獲得後、通算19度の防衛を果たし、人種差別反対唱えた合衆国の元プロボクサー、モハメド・アリ Muhammad Ali (1942 - ) の言葉です、

**Champions aren't made in gyms. Champions are made from something they have deep inside them: A desire, a dream, a vision. They have to have last-minute stamina, they have to be a little faster, they have to have the skill and the will. But the will must be stronger than the skill.**

チャンピオンはジムで作られるものじゃない。彼らの奥深くにある「何か」で作られるんだ。例えば願望、夢、ビジョン。そのためにはどんな土壇場でも耐えるスタミナと、少しばかりのすばしっこさ、そして技術と意志が必要だろう。だが意志の力はどんな技術よりも更なる強さを与えてくれる。

志望校に合格するための努力を惜しまず、しっかりした学力(=技術)を身につけること。そして、なぜ合格しなければならぬのかという明確な理由(=意思)を持つことが大切だということでしょうか？ 大学受験という未知の世界で自分の力を試そうとしていることに対する不安も大きいかも知れませんが、不安を払拭できるぐらいの頑張り・必死な努力が君たちに自信をもたらす、受験の際の大きな支えになります。最終的に君たちを支えてくれるのは自分自身。自分を信じることです。

センター試験受験の1週間後には、自己採点の結果を基に、どの大学を受験するのか最終決定をしなければならない時がやってきます。その時に、自分自身が得た結果を、自分自身の立ち位置を冷静かつ客観的に判断して、そして謙虚に受け入れることができるかどうかは、君たちが今できること、今やらなければならないことに努力を惜しまないことです。3週間後に迫った1つ目の関門、センター試験に向けて最大限の努力を積み重ねていくこと、1点でも多く得点するために最善を尽くすことです。言い訳などせず、様々な苦しさから安易に逃げずに、しっかり向き合って下さい。最後まで諦めずに力を出し切って下さい。この時期に経験する苦しい経験から、君たちは必ず何かを学びます。そしてこの経験こそが、将来、何らかの形で君たちの支えになる日が必ずやってきます。

最後に…いよいよ高校生活最後の年末年始を迎えます。最後の年ぐらい受験生らしく、大晦日の除夜の鐘を自分の机に座って聴き、新しい年を迎えるのもいいと思います。そして、気持ちを新たにして初日の出を拝んだ後は学校に向かう。同じ思いで頑張っている50期みんなと学習室で一緒に勉強をする。今しかできないことに向き合って、晴れ晴れしい気持ちで卒業の日を・合格発表の日を迎えて欲しいというのが3年生に関わる先生方すべての気持ちです。頑張れ！ 50期生！